

〔資料〕

『学校経営研究』掲載論文題目一覧
(第1巻～第19巻)

第1巻 (1976)

- 吉本 二郎 学校経営と学校経営学
永岡 順 現代学校経営計画論——計画論構成への一試論——
高野 尚好 学校経営研究の基本問題——学校教育目標の明確化——
小島 弘道 学校経営と国民の教育意思——研究ノートとして——
安井 健二 学校経営における自律原理と他律原理
朴 聖雨 教育経営研究における前提的諸問題
黒沢 武美 学校教育目標に関する若干の考察——経営・管理に視点をおいて——
　　<課題研究>公教育の質的保障と指導行政
大西 信行 わが国における地方視学制度の成立と展開——郡視学を中心として——
小松 郁夫 戦後日本の指導行政制度とその問題点
西 稜司 アメリカの指導行政——その特質の把握を中心にして——
堀内 孜 主要国の視学制度からする我国の指導行政制度の再検討
　　——英・仏・西独・ソとの比較研究——
村田 俊明 アメリカにおける教育経営理論研究の発展に関する一考察
平沢 茂 学校経営研究の現代的課題——概念の検討を通して——
大脇 康弘 戦後日本における学校経営論の系譜——文献研究を中心として——

第2巻 (1977)

- 吉本 二郎 学校生活の再設計——教育課程審議会の答申と学校経営——
永岡 順 アメリカ学校経営理論の展開過程
西 稜司 教育行政・学校経営研究における組織社会学的アプローチの意義と展望
　　——教育組織の官僚制論の検討をとおして——
丸山 義王 川崎市における小学校高学年の教担制(協力指導組織)10年の歩みとその現状
堀内 孜 レーニンにおける教育——文化変革の視座と論理——
平沢 茂 学校におけるメディア体系の最適な組織・運用に関する研究
　　——メディア・センターの構想と課題——
大脇 康弘 米国における教員諸団体の団体交渉の実態と理論
　　——教員団体の専門職組合化への一アプローチ——
天笠 茂 学級経営に関する研究——学級の考察を通して——

第3巻 (1978)

- I 吉本 二郎 学校の内と外を見つめて——私の学校経営研究の歩み——
(付、吉本二郎教授研究業績目録)
- II 吉本二郎教授と日本の学校経営研究
- 堀内 孜 「学校経営論」と「公教育論」——その位置関係と課題性——
- 小島 弘道 学校教育の自主性と公共性——学校経営の自立を求めて——
- 平沢 茂 教育課程の開発過程に関する研究序説
——「カリキュラム開発に関する国際セミナー」における吉本提案の検討——
- 小松 郁夫 教育課程の開発と学校経営
- 西 稜司 学校経営研究における教職研究の基本的視座の検討—教師の職責と職能成長—
- 朴 聖雨 学校経営理論のあり方とその方法論
- III 学校経営研究の今日的課題
- 永岡 順 学校経営研究における「計画論」の問題
- 伊津野朋弘 教育行政機関と学校の関係
- IV 自由研究
- 和泉 修治 高等学校生徒会の組織機構の改革
- 勝山 一義 魅力ある学校生活の創造を目標とした教育実践
——小規模高校における学校行事の指導を中心として——
- 富田 勇吉 現代教職観の検討
- 大脇 康弘 教員の教育実践と教員団体の役割
- 小島 弘道 ソビエトにおける学校自治の思想と制度 (その2)

第4巻 (1979)

- 宇留田敬一 クラブ活動組織の基礎的研究
- 村田 俊明 学校組織の特質と運営に関する一考察——学校の生態学的研究の試み——
- 天笠 茂 教授組織改革の展開過程に関する一考察
——神奈川県における小学校教員の確保対策との関連を中心に——
- 篠原 清昭 学校管理規則の教育法学的考察 (その1) ——その法理と法構造——
- 堀内孜・水本徳明・木岡一明 教員養成制度改革の現代的課題—英・仏両国の動向を中心に—
- 丸山 義王 小学校における全校共同研究のあり方と課題
<文献解題>
- 大西 信行 学校組織の革新に関する研究における条件適応理論の意義について
——P.R.Lawrence & T.W.Lorsh, Organization and Environment:
Managing Differentiation and Integration をととして——

第5巻(1980)

I 特別寄稿論文

新井 郁男 学校教育計画の課題

II 共同研究 新任期教員の指導力形成と教育行政の責任に関する研究

小松 郁夫 教員研修に関する教育行政の責任

北神 正行 新採用教員研修施策の現状と行政の役割—中央・文部省の研修施策の考察から—

篠原 清昭 新採用教員研修における教育委員会の行政責任——千葉県を事例として——

丸山 義王 新任期における校内研修の実態と問題点

小島 弘道 新任期教員の力量形成——その可能性と側からの研修組織化の意義——

III 自由研究

天笠 茂 学級担任の職務活動と学校経営計画

小島 弘道 主任の職務行動における学校経営計画の規範性に関する研究

村田 俊明 学校経営の計画化における校長の職務と主導性

石井 惇 高等学校(普通科)の目標達成をはばむ要因

——多様化する生徒の学力を向上させるための指導組織の視点から——

宇留田敬一 集団の組織化の度合いからみたクラブ活動と部活動の比較的研究

篠原 清昭 学校管理規則の教育法学的考察(2)——地教法第33条の立法者意思の分析——

朴 聖雨 「学校改革論」に関する一考察(上)——学校経営学的視点を中心に——

IV 文献解題

西 稜司 Dan C. Lortie, Schoolteacher: A Sociological Study (Chicago: The Univ. of Chicago Pr., 1975)

第6巻(1981)

I 特別寄稿論文

渡辺 孝三 学校教育法26条について

II 自由研究

永岡 順 学校の管理運営における教委と学校の組織関係

和泉 修治 総合制高等学校における学力向上のための実践研究

——校内実力テストの試みを追跡して——

木岡 一明 戦後日本における学校評価論の系譜論的検討

久保田 力 教育経営研究における「理論」に関する一考察

篠原 清昭 学校管理規則の教育法学的考察(その3)——判例研究を中心として——

丸山 義王 小学校における「ゆとりの時間」はどのように設計されているか

第7巻 (1982)

I 宇留田敬一教授と日本の生徒指導研究

1. 生徒指導の理論と実践

宇留田敬一 私の研究の歩み——昭和20年代の教師の仕事を中心に——

(付, 宇留田敬一教授研究業績目録)

中野目直明 宇留田敬一先生に学ぶ

2. 生徒指導と学校経営

西 穂司 学校経営研究における生徒指導論の位置と課題

大石 勝男 主任の制度化に伴う生徒指導組織の実態と問題点

天笠 茂 特別活動の指導組織に関する一考察

II 自由研究

北神 正行 戦後教育改革における教員身分法制定構想の位置とその展開過程

堀井 啓幸 学校施設における教育理念の具象化の課題と学校経営

丸山 義王 児童の学校生活とゆとり

——小学校の日課表との関連からみたゆとりについて——

村田 俊明 Organized Anarchy としての学校組織に関する一考察

III 文献紹介

阿久津 浩 T. J. Sergiovanni and F. D. Carver (1980) The New School Executive;
A Theory of Administration (2nd.ed.)

第8巻 (1983)

I 自由研究

木岡 一明 社会教育事業の実施主体に関する一考察

——「主催者型」教委と「援助者型」教委の比較による事例研究——

久保田 力 学校経営学の目的論的構造論

——Eckard König の所論をてがかりとして——

堀井 啓幸 学校施設基本計画作成プロセスへの教師参加の課題

——個々の学校施設と教師の施設認識との関連から——

丸山 義王 「ゆとりの時間」で児童の創造性は育成できるか

柳原 葉子 生徒の逸脱行動に関する生徒指導研究の視角

II 文献紹介

天笠 茂 Arthur Levine (1980)

Why Innovation Fails.

第9巻 (1984)

I 小特集：学校経営理論の現状と展望

学校経営研究編集委員会 序

- 大西 信行 学校経営研究における「組織論」の課題
小松 郁夫 「学校論」の再構築をめざして——教育行政・学校管理との接点から——
大脇 康弘 学校の管理社会化に抗する学校経営理論構築の課題
木岡 一明 「教育経営研究と教育経営実践の緊張関係」の形成を説く
児島邦宏論文の批判的検討
堀井 啓幸 教育経営概念の再考
大脇 康弘 学校経営—教育経営論史の課題——中留武昭論文をてがかりとして——

II 自由研究

- 堀井 啓幸 戦後の学校建築史——学校施設論の蓄積と実際に関する若干の考察——
丸山 義王 授業に置ける教師と児童の相互関係の考察
——児童理解のズレをなくすための一方法として——
柳原 葉子 生徒指導をめぐる教師の“新たな力量”についての一考察

III 研究ノート

- 小島 弘道 ソビエト学校経営論の最近の動向——「目標による管理」を中心に——

第10巻 (1985)

- 堀内 孜 「教育経営」概念の実体性と有効性
丸山 義王 教師の「自己評価目録」について
——NSTAにおける教師と生徒の相互作用のモジュールを通して——
村田 俊明 学校経営のためのルース・カプリング理論について
天笠茂・小林匡子・関口照夫 学級経営評価に関する文献目録

第11巻 (1986)

I 特集：臨教審第一次答申をどう読んだか？

- 北神 正行 臨教審に期待されたものは何であったか
篠原 清昭 教育実践から教育制度改革へ——研究者の課題と戦略——
田中 敏彦 「現場人」の素朴な一感想
永岡 順 臨教審教育改革における「自由化」理念の「個性主義」への展開過程
西 穰司 学歴社会の弊害は正論にみる社会・歴史認識の楽観性

堀内 孜 臨教審第一次答申における「個性主義」の位置と意味

山田 順子 忘れられた出発点

吉本 二郎 今日の教育の課題と展望

II 自由研究

小島 弘道 ソビエトの教育改革と教育行政

丸山 義王 教師の「自己評価目録」について（II）
——生徒理解についての生徒の行動目録試案——

水本 徳明 日本のマンパワー政策における公教育の現代的特質に関する考察
——マンパワー政策論の検討を通じて——

III 学校現場の問題

岩崎袈裟男 東京の都心地域における統合による新設中学校建設の記録

佐野 金吾 中学校の当面する課題について

富田 勇吉 現代の子どもと教育

IV 文献・資料紹介

天笠 茂 臨時教育審議会と新聞報道
——第1次答申と「審議経過の概要（その3）」について——

木岡 一明 教育誌展望（1985年）——この一年の問題意識と論点の軌跡——

北神 正行 Patricia M. E. Ashton, Euan S. Henderson, John E. Merritt, and Derek J. Mortimer, *Teacher Education in the Classroom: Initial and In-Service* (1983), CROOM HELM.

浜田 博文 Bergquist, C. C., Ellzey, M. A., and King, D. S., *An Evaluation of Teacher Education Centers, Evaluation Systems Design, Inc., of Tallahassee, Florida*, Jan. 14, 1983.

第12巻（1987）

I 特別寄稿論文

Meredydd G. Hughes *Educational Administration in Britain: A Case Study of Changing Relationships*

小松 郁夫 解説・ヒューズ教授の略歴と業績紹介

II 特集：学校経営研究の課題

1. 学校経営研究の学問的性格

高野 桂一 研究方法論の反省と今後への期待——研究個人史を中心にして——

西 稜司 学校経営研究におけるリアリティをめぐる現状と課題

朴 聖雨 学校経営研究における「認識枠組」について

- 堀内 孜 学校経営研究の位置と独自性
2. 学校経営研究に期待するもの
- 和泉 修治 学校経営研究に期待するもの(1)
- 洞澤 弘敏 学校経営研究に期待するもの(2)
- 桜井 均 学校論の位置
- Ⅲ 自由研究
- 水本 徳明 イギリス教育行政の転換構造
——M. G. Hughes 教授の所説を手掛りとして——
- 山田 順子 臨教審第二次答申を読んで——第一次答申との比較を中心に——
- Ⅳ 学校現場の問題
- 小室 哲範 現職教師が大学院で学ぶことの意義と現状
- 富田 勇吉 学校経営における生徒指導
- 丸山 義王 新任教頭の諸問題
- Ⅴ 文献・資料紹介
- 村田 俊明 『組織におけるあいまいさと決定』“Ambiguity and Choice in Organization”
(1976) by James G. March and Johan P. Olsen [遠田雄志・アリソン・ユング
訳]
- 柳澤 良明 Der Kultusminister des Landes Nordrhein-Westfalen, „Erfahrungsbericht zum
Schulmitwirkungsgesetz“, 1983.
- 天笠 茂 臨時教育審議会と新聞報道
——第二次答申と「審議経過の概要(その4)」について——
- 浜田 博文 教育誌展望(1986) ——この1年の教育実践をめぐる諸論——

第13巻(1988)

I 特集：教育改革と学校経営改善への期待

- 小島 弘道 教育改革と学校経営改善
- 天笠 茂 転換期の教育と教育課題の経営
- 岩崎袈裟男 学校経営と校長のリーダーシップ
- 北神 正行 初任者研修制度の導入と学校経営の責任
- 西 穰司 現職研修の充実と学校経営の課題
- 水本 徳明 学校経営の改善と教育行政の責任

II 自由研究

- 浜田 博文 アメリカにおける Teacher Center の活動とその特質に関する一考察
——教師の自主的研修活動の助長の側面を中心に——

小松 郁夫 イギリスにおける教育経営研究・教育の動向

——その1 大学における教育・研修と「教育組織と経営」ゼミ——

Ⅲ 学校現場の問題

阿部 慎二 学校経営充実の一方策について

Ⅳ 文献・資料解題

天笠 茂 臨時教育審議会と新聞報道（その3）——第三次答申と最終答申について——

浜田 博文 文献解題：The Holmes Group, "Tomorrow's Teachers: A Report of The Holmes Group," (The Holmes Group, Inc., April 1986)

——アメリカにおける教職構造の変革による学校教育改善へのアプローチ——

柳澤 良明 文献解題：Der Kultusminister des Landes Nordrhein-Westfalen, „Schulmitwirkung auf dem Prüfstand——Auswertung einer Umfrage unter Eltern, Lehrern und Schülern“, 1983.

第14巻（1989）

I 特別寄稿論文

Thomas, H. and Ranson, S. EDUCATION REFORM:

THE NATIONAL INITIATIVE IN BRITAIN

小松 郁夫 解説：イギリスの1988年教育改革とトーマス＝ランソン論文

Ⅱ 自由研究

堀内 孜 教育行政と学校経営の関係構造——組織・権限・機能の検討を通じて——

村田 俊明 市町村教育委員会における指導活動の実態

——関西三府県下市町村教育長の意識調査を通して——

木岡 一明 学校評価をめぐる教育委員会の位置と役割——戦後期学校評価構想の再検討——

末澤 薫 満蒙開拓青少年義勇隊の教育——清水増男の証言から——

Ⅲ 学校現場の問題

小倉 真 学級づくりにおける「教師理解（教師の語りかけ）」の果たす役割

——学級通信と学級づくりとのかかわりについて——

丸山 義王 初任者研修の試行とその課題

Ⅳ 文献・資料解題

西 穰司 文献紹介：ポーラ・シルバー著，岸本幸次郎他編訳『教育経営学の基礎理論』コレール社，1986

堀井 啓幸 文献紹介「The English School——Its Architecture and Organization——Volume II 1870～1970」（マルコム・シーボン，ロイ・ロイ著）

第15卷 (1990)

I 特集：永岡 順教授と学校経営研究

永岡 順 私と学校経営研究——教育行政と学校経営の間——
(付、永岡 順教授略歴・研究業績目録)

浜田 博文 “地域学校経営”の観点に立つ学校経営論—永岡 順教授の研究の足跡から—

水本 徳明 学校の地域社会性と公共性——学校論の問題視角として——

II 自由研究

北神 正行 現代教育経営と中央教育行政の役割——臨教審教育行政改革の検討から——

小松 郁夫 公教育に対する責任とパートナー・シップ——イギリスの教育は変わるか——

榊原 禎宏 西ドイツ・1970年教育審議会勧告における教師像——教員養成論の一考察——

篠原 清昭 学校病理と子どもの人権

清水 希益 都立単位制高等学校（仮称）の概要——開設準備段階における計画——

平沢 茂 情報化社会と教育経営

III 学校現場の問題

和泉 修治 新潟県の高校教育を検証する
——学校運営組織の分析とその病理性の解明をとおして——

鈴木 政一 私の校長論——校長のリーダーシップ——

富田 勇吉 学校の内と外——社会教育からみる学校教育——

丸山 義王 人間関係の開発を通して学校経営を考える—教職員の人間関係と校長の役割—

IV 文献・資料解題

山田 順子 家事参加・育児参加と家庭運営に関する男女の意識の齟齬—近年の諸調査から—

第16卷 (1991)

I 特集：「学校経営学」教育

天竺 茂 入門期の「教育経営学」教育の課題

西 穰司 大学院修士課程における学校経営学教育の事例的考察

亀井 浩明 現職教育における学校経営教育

小室 哲範 現職教師が大学院で学ぶことの意義と現状（II）

II 自由研究

神山 知子 教育実践に見る教員の資質——太田昭臣氏の指導スタイルを通して——

榊原 禎宏 授業認識から見た教師のストラテジー

堀井 啓幸 教育実習生に対する事前・事後指導の在り方についての研究序説
——短大英文科実習生の研究授業事例から——

浜田 博文 教員研修における学校—行政関係の問題と課題

——協同関係のあり方をめぐって——

村田 俊明 学校・教育委員会の管理運営関係について

柳澤 良明 日本における父母と学校との新たな協力体制づくり

Ⅲ 学校現場の問題

青木 朋江 学校経営と職員団体——中堅職員をいかに育てるか——

丸山 義王 教師の「自己評価目録」について（Ⅲ）

——教師の態度についての行動目録の活用——

Ⅳ 研究ノート

浜田 博文 日本における師範学校の制度及びカリキュラムの変遷過程

——創設期（1872～1880）及び整備・確立期（1881～1911）——

吉本二郎先生を悼む

永岡 順

小島 弘道

第17巻（1992）

Ⅰ 特集：再考・吉本学校経営学

堀内 政 単位学校経営論と学校の自立性——吉本学校経営学の基本構造——

小松 郁夫 公教育論の構造と問題点

水本 徳明 「学校論」から「学校学」へ——学校経営学における学校論の位置と課題——

天笠 茂 学校組織論・教授組織論の特質と課題

木岡 一明 教員養成論の構造と展開——吉本学校経営学の前提認識——

Ⅱ 自由研究

北神 正行 戦後教員養成カリキュラムの形成に関する一考察

——「東京第一師範学校案」の分析を中心に——

榊原 禎宏 高校生の進路形成と学校生活——学校文化論に関連して——

西尾 克明 高校教育像の再編成

Ⅲ 研究ノート

浜田 博文 日本における師範学校の制度及びカリキュラムの変遷過程（続）

——改革模索期（1912～1943）——

第18巻（1993）

Ⅰ 特集：日本の学校経営理論の再検討

堀内 政 学校経営理論の基盤構築と今日の問題状況——特集テーマの解題とその課題——

北神 正行 持田栄一『教育管理』（1961年）の検討——持田教育管理論の特徴と意義——

- 久保田 力 高野桂一『学校経営の科学—人間関係と組織の分析』（1961年）の検討
—わが国における学校経営学の形成および確立過程における意義と残された課題—
- 村田 俊明 伊藤和衛『学校経営の近代化入門』（1963年）の検討
—学校経営の近代化論の特質と公教育経営論に関する考察—
- 大西 信行 吉本二郎『学校経営学』（1965年）の検討—理論形成の位置を中心に—
- 西 稜司 市川昭午『学校管理運営の組織論—現代教育の組織論的研究』（1966年）の検討
—方法論の特質と成果に焦点を当てて—

<特別寄稿>

- 青木 薫 教育経営についての個人的考察

II 特別論文

- 小松 郁夫 現代イギリス教育経営研究序説（その1）—公教育の構造転換と学校の自律性—

III 自由研究

- 水本 徳明 明治期長野県の小学校における休業日の制度化過程
—日曜休と長期休業による学校時間構造の形成—
- 浜田 博文 「児童の権利に関する条約」からみた学校経営の課題
- 榎原 禎宏 校内研修主題の特質と課題—山梨県下の小学校を事例として—

IV 学校現場の問題

- 山崎 保寿 高等学校における選択制の決定過程に関する考察
—選択制の促進要因と阻害要因の視点から（事例研究）—

V 書評

- 中留 武昭 永岡順編著『現代教育経営学—公教育システムの探究』教育開発研究所 1992年

第19巻（1994）

I 特集：隣接学問分野からみた学校経営研究の課題

- 佐藤 全 学校経営研究の課題
- 渡邊 光雄 「教える行為」の秩序が及ぼす無意図的効果の問題
- 平沢 茂 生涯教育学の課題
- 葉養 正明 学校という生活世界をどうとらえるか
—学校経営研究における「自明性」への懐疑，再び「学校」とはなにか—
- 油布佐和子 事実の客観的認識ということについて—教育社会学からみた学校経営学の問題—
- 佐古 秀一 隣接学問分野からみた学校経営研究の課題—社会心理学の観点から—
- 吉村 彰 居心地よく，心豊かにする空間の学校をめざして
—学校建築計画と学校経営の連携のあり方—

II 自由研究

- 水本 徳明 明治期長野県の小学校における学校年度・学校暦の制度化過程
——学年制の成立と学校時間構造の形成——
- 佐野 享子 教育経営研究におけるマーケティング論的アプローチ
- 西山 亨 教育公務員における職務分類と成績主義
——国公法第29条と職階法の成立過程における考察を通じて——
- 朴 勇俊 日本の大学における朝鮮語教育に関する一考察
——「導入始期」の指導指標を中心に——

Ⅲ 学校現場の問題

- 山崎 保寿 高等学校の制服変更に関する事例的考察

Ⅳ 研究ノート

- 堀井 啓幸 いじめの国際比較——その実態把握の問題を中心として——
- 山田 順子 特別活動への参加と学業成績の関係に関する日本およびアメリカでの実証的研究
について